

平成27年10月1日

平成27年度関東東海北陸農業試験研究推進会議  
関東東海・水田作畑作部会 研究会開催要領

部会長：中央農業総合研究センター 生産体系研究領域長 大下泰生  
副部会長：作物研究所 稲研究領域長 安東郁男

1. 趣旨

生産現場の大規模化や担い手不足に対応し、さらには競争力の高い低コスト生産を達成するために、「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」が全国で取り組まれている。2年の短期間で新技術を生産現場に導入し、その効果や経済性評価を行う実証事業であり、関東東海地域の水田作畑作分野においても課題が設定され、その成果が期待される。そこで、本部会では、水稻や麦類、大豆の輪作体系を中核とした課題、および畑作の省力技術体系に関する課題について、その進捗状況や、これらの技術を活用した水田作畑作の技術展開について議論し、今後の研究開発に資する。

2. 開催日時

平成27年11月25日(水) 13:15~17:10

3. 開催場所:

中央農業総合研究センター本館 大会議室(茨城県つくば市観音台3-1-1)

4. 検討内容

テーマ:「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」の進捗状況と今後の技術展開について

- 1) 茨城県におけるチゼル・ドリルシーダと耕うん同時畝立て播種機を基軸とした水田輪作体系の進捗状況と今後の技術展開 13:25~13:50  
茨城県農業総合センター 農業研究所 作物研究室長 飯島智浩
- 2) 千葉県における水稻早期乾田直播栽培技術の取り組み状況と今後の技術展開 13:50~14:15  
千葉県農林総合研究センター水稻・畑地園芸研究所 水稻温暖化対策研究室長 鶴岡康夫
- 3) 長野県における「高性能農業機械による高冷地における飼料用稲を含めた水稻-小麦-大豆-そば高能率水田輪作体系の実証」の進捗と今後の方向性 14:15~14:40  
長野県農業試験場 作物部 主任研究員 青木政晴
- 4) 愛知県・三河地域における高精度圃場整備・排水管理技術を組み込んだ大規模水田輪作体系の進捗状況と今後の技術展開 14:40~15:05  
愛知県農業総合試験場 作物研究部 主任研究員 船生岳人  
休憩(15:05~15:20)
- 5) 三重県における改良型小明渠浅耕播種機を活用した省力・低コスト輪作体系の進捗状況と今後の技術展開 15:20~15:45  
三重県農業研究所 農産研究課 研究員 川原田直也  
中央農業総合研究センター 生産体系研究領域 上席研究員 渡邊和洋
- 6) 不耕起播種機を用いた水稻-小麦-大豆輪作体系のコスト削減効果と今後の技術展開 15:45~16:10  
中央農業総合研究センター 生産体系研究領域長 大下泰生
- 7) 落花生収穫機を基軸とした超省力生産体系開発実証の進捗状況と今後の技術展開 16:10~16:35  
中央農業総合研究センター 作業技術研究領域 深山大介

総合討議

16 : 35～17 : 10

情報交換会

農林水産省農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター 1階食堂 17 : 30～

参集範囲

関東東海北陸地域公立試験研究機関・行政普及部局、農水省農林水産技術会議・生産局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、生産者、農研機構の関係者、その他部会長が認める者

連絡先

〒305-8666 茨城県つくば市観音台3 - 1 - 1

中央農業総合研究センター 【関東東海・水田作畑作部会】

生産体系研究領域 内野 彰

Tel : 029-838-8426 Fax : 029-838-8515 E-mail : [uchino@affrc.go.jp](mailto:uchino@affrc.go.jp)

その他

詳細については、別途事務連絡します。